

9月	豊川 愛護モニター報告	モニター区間	豊川: 左右岸 当古橋～新城橋
			管轄出張所: 一宮出張所
実施日	令和 3年 9月 30日	実施区間	新城橋周辺



新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言も本日で解除の情報が報道されている9月末、新城橋周辺を観察しました。非常強い台風16号が接近しつつあり、天候はやや不安定です。このあたりの豊川は淵もあり、ゆったりと流れている絶景を楽しむ事ができます。ところが、洪水時にはすさまじい濁流へと変化するところでもあります。今日も、50cmを超える鯉が3匹と親子の亀がゆったりと泳いでいました。右の写真は川岸の高台から川面を見つめる石仏です。ごりっばで大切に保存されている役行者様(と思います)と左には青面金剛(と思います)がありました。川の豊かさと安全を祈願して地元の方が建てたのでしょう。今年の豊川は今のところ、水害は無く、ありがたいことです。お賽銭を入れて手をあわせました。



左は、新城橋たもとの左岸にある、石田の水位観測所とそこへ下りるスロープです。台風や大雨で増水時には、この観測データが自動で行政やネット情報として発信され、災害対策に活用される非常に大切で重要な施設です。下流の市や町内会では、ここの水位情報をもとに排水ポンプの稼働準備や実行をしています。通路や階段もきちんと管理されている様子で安心しました。一方で、右の写真は、隣にある水防倉庫(愛知県の管理)の周辺は雑草が生い茂り、器具の管理は大丈夫かな、いざと言う時に使えるのかな、と少し心配になりました。防災施設の管理は外見も含めて確実にして防災意識向上させ、国と県市と市民の信頼関係を高めていきたいものです。